

# 生活科 スタートカリキュラムの作成・改善

生活科においては、幼児教育との接続の観点から、幼児と触れ合うなどの交流活動や他教科等との関連を図る指導が求められています。

特に、第1学年入学当初においては、小学校生活への適応や、教科等の学習活動への円滑な接続が図られるよう、スタートカリキュラムを作成・改善していくことが大切です。



スタートカリキュラムは、小学校に入学した児童が、幼児教育から小学校教育へと円滑に移行していけるよう編成した入学当初の指導計画です。

実施期間は、児童や学校の実態を踏まえて設定しますが、おおむね1ヶ月程度が多いようです。

## 1 スタートカリキュラムの意義・考え方

### (1) 安心して小学校生活をスタートできるようになる

入学時、児童は新しい環境（学校や先生、友達、一日のリズムなど）に置かれ、様々な不安を抱えています。

幼稚園や保育所等で親しんだ遊びや活動を取り入れたり、友達と仲良く交流する活動を行ったりすることで児童が安心して小学校生活をスタートできるようになります。

### (2) 自信をもって自己発揮できるようになる

児童は、幼稚園や保育所等で5領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）の内容を遊びや生活を通して総合的に学んできています。

それらの学びと育ちを生かす活動や環境を意図的に設定し、取組を認め、称賛していくことで、児童は自信をもって自己発揮できるようになります。

### (3) 児童主体の学習活動が展開できるようになる

生活科では、活動や体験を繰り返したり他者とともに活動したりする児童主体の活動により、気付きの質を高める指導を大切にしています。

また、生活科の学習は、国語科や音楽科、図画工作科など他教科との関連が深く、指導に当たっては、それらと積極的に関連を図ることが求められています。（特に、入学直後は、児童の発達の特長や各教科等の学習内容から合科的な指導を展開することが適切です。）

「生活科を中心としたスタートカリキュラム」を実施することで、児童の主体性及び発達の特長を生かした学習活動が展開できるようになります。

## 2 スタートカリキュラム作成・改善の留意点

### (1) 児童の発達を踏まえた時間割や学習活動の工夫

入学時の児童は、「長い時間じっと座って学習することが難しい」「身体全体を使って学ぶ」という発達の特性があります。

これらの特性を踏まえ、20分や15分程度のモジュールで時間割を構成したり、活動性のある学習活動を行ったりする工夫が求められます。

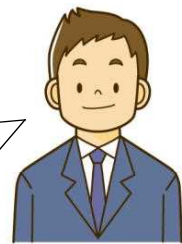
### (2) 生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実

スタートカリキュラムでは、自分との関わりを通して総合的に学ぶ児童の特性を踏まえ、生活科を中心とした合科的・関連的な指導の充実を図ることが大切です。

入学当初の生活科「学校探検」を小学校の学びへの橋渡しとして位置付けるなどして、児童の思いや願い、思考の流れに沿った単元構成及び学習活動を工夫しましょう。

以下、スタートカリキュラムの例を示します。

幼稚園や保育所等における生活リズムを踏まえた「登校してから1校時目の活動」の設定、モジュールや2時間続きの時間配分、生活科を中心とした合科的・関連的な学習活動の配列などを参考にしてください。



(例) 4月第2週のスタートカリキュラム

	4月11日(月)	4月12日(火)	4月13日(水)
朝の会	ランドセルの片付け、朝のあいさつ、健康観察		
1	<b>幼稚園や保育所等で親しんだ遊びや活動</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌、手遊び(音楽)</li> <li>・交流ゲーム(学活)</li> <li>・読み聞かせ(国語)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌、手遊び(音楽)</li> <li>・交流ゲーム(学活)</li> <li>・読み聞かせ(国語)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌、ゲーム(音楽)</li> <li>・運動遊び(体育)</li> <li>・読み聞かせ(国語)</li> </ul>
2	<b>合科的な指導</b> (生活、国語)  「学校探検」 ・校内を探検する。 (図書室がゴール)	<b>合科的な指導</b> (生活、体育)  「学校探検」 ・校庭を探検する。  ・遊具で遊ぶ。	<b>合科的な指導</b> (生活、図工) 「学校探検」 ・友達と探検する。 ・次時は「学校にいる人と話そう」
	・図書室で絵本を読む。		<b>関連的な指導</b> (国語) 「よろしくね」 ・名前カードを用いて自己紹介の練習をする。

※ 詳しくは、「スタートカリキュラム スタートブック(教員向けパンフレット)」(平成27年1月 国立教育政策研究所)をご覧ください。